

□ NST 栄養サマリーの分析からみえる地域包括ケアシステムにおける急性期病院の役割

研究課題名	NST 栄養サマリーの分析からみえる地域包括ケアシステムにおける急性期病院の役割
研究期間	2019 年 4 月から 2020 年 3 月
研究対象	当院から退院時に病院や施設、在宅の担当者に提供した NST 栄養管理サマリーを対象とする。
研究の目的・方法	<p>超高齢社会の進展の中、急性期病院に入院する患者背景は複雑多岐である。複数疾患を併せ持つだけでなく、家族や施設の形も大きく変わってきている。日々の NST 活動の締めくくりに、当院から提供した栄養サマリーを分析することで、入院初期から退院先を見据えた栄養管理の支援を戦略的に実施することが可能となるのではないかと考える。また、そこには選ばれる病院としての患者や家族施設、かかりつけ医の満足も考えなければならない。難しい問題であるが、今回の分析で急性期病院としての当院の役割の一端を明らかにし、2021 年 JSPEN 学術集会にて報告をして、当学会学術誌に投稿を予定している。</p>
研究に用いる試料・情報	<p>NST システムに保存されているサマリーから必要な情報を取得する。</p> <p>性別（男 1、女 2）      年齢      BMI</p> <p>退院時の栄養管理内容</p> <p>退院時の投与エネルギー量、蛋白質量</p> <p>退院時の ALB</p> <p>退院先施設</p> <p>施設の種類</p>
研究責任者・担当者	栄養管理室室長 田崎亮子